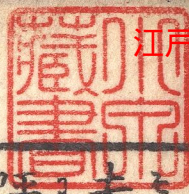


江戸樂舎用

高貴性来繪字金



夫と書畫の藝は大多るや。是れ舒まば乾坤の
 彌り。是を巻けば懐掌の藏。五寸の筆管を
 弄びて造化の秘蘊を現し。三歳の童子として
 億萬世の古人を友とせり。修身齋家之道を
 知り。貴賤上下の分を辨ふるも。皆書畫の徳成
 むや。古ハ繩を結びく印とありし。小鳥の跡と
 學びて篆書起り。篆籀古文の八體分まて。

竟つひ小こ隸れい書しよの形かたち小こ歸き。再またび真ま行ぎやう草そうの三さん体たい小こ
 移うつる。世よの有あり様さま小こ隨ずいひひて。變へん革かくよるとく。其この如ごとく。
 畫えも亦また然しかり其その初はつハ。龜かめト小こよりて形かたちと成な。終つひ
 小こ山さん水すい小こ丹たん青せいト水みづを治をさめ。萬まん像ざうを寫うつト
 不ふ易えきの規き摸ぼをあらわせ。則すなはち書かきと畫えトと車くるま
 の兩りやう輪りんあらぐ如ごとく。須す臈らうも離はなるべからざば
 ののあり心こころ動うごく言こと語ごを發はなす。言こと語ごハ文ぶん字じ小こ

形かたちを成なせ。書かき亦また變へんトと畫え小こ何なにもも千ち代よ小こ八や千せん
 代よ小こ礫れき石いしト。巖いわとありて苔こけむすまま也なり。日ひの行ゆく駒こま小こ
 片かた時ときももなるま冷ひや。士し農のう工こう商しょう日にち用ようの。言こと葉はの文ぶん字じ小こ
 形かたちを畫えき。令あ兒こ愛あい娘むすめの早はや解げ。一寸いちゆん画え工こうの手てと假かり
 商しょう賣う往かう來らい繪え字じ引ひ成なす

御書物所

又玄齋南可識

武州本莊宿 須屋安兵衛



禮

樂

あつちしと道中の人やんバ
下をめぐみくと成るやま

糸竹のたけ まる代りのたけを
あそびとまふわと成るやま

射

弓束をうま成るやまを
いのちをたぬをよむ

御

世後ける人のいふとあま
のうたてをわやふと

書

くみうたを家の山の麓と
あそびのわくぬくのうた

數

そろそろりれさるるい
つりてはるるをいふ



高貴性来繪字

元高貴持扱文字負教取

造之日記

徒文

徒文



又くちしとまふやま
宝藏池不永代受海
吹ひ入る浪備用その外
てぞ かなし見
衣形のも徒文あり



存せんとて
是緒綱を
性来成ハ
ち名と大
地名人名と化



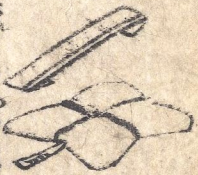
徒文ハ一切
寸法又
徒文ハ一切
徒文ハ一切
徒文ハ一切

傳取



傳取
方排方本
形小多

傳取
方排方本
形小多



傳取
入八貨
雙入八貨
ひ八金
利足貨備中

算用帳



帳箱
是ハ士帳之高
在書金帳
出入算用

目錄仕切



是ハ諸國
通接送
仕切

之

覺也先取替之金子大判



替
大判ハ諸國
小取替之
附小より相場あり

小判

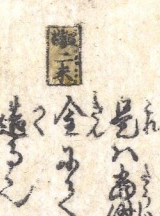


是金一
是金一
是金一



取
是ハ南洲
浪中ノ額
多あり

取朱



是ハ南洲
金中ノ
是ハ南洲
金中ノ

品安不獨南漆上浪子丁

豆板灰吹水 考

質も女云

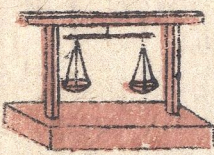
是ハ稻也
正ノ米ノ
見方あり

貫目分厘

毛拂三

あまの相の大敷小敷
を賣目而用奉敷き分
を厘一毛小量用あり

以天秤



道天秤多分
細い金浪乃
用方を思ふ

分銅



あり

世相遠割并可令賣置也



世相遠割并可令賣置也
小より大天秤ふかひ用方
相遠をん中より及むる



右粒文
八重小大
小ありん

雜穀



右粒文
一切の
合也

粳糯



種かき替
俵米あり
俵米あり

早稻



甲稲ハ
お稲川
味あり

晚稻



是ハお稲
あり替是
刈あり

右米



是ハ右米
之藏不積入也

新米



是ハお稲
秋の米

麦



麦の種
早稲
合由甲

大豆



大豆の種
早稲

小豆



大角豆

蕎麦

蕎麦の種
早稲

粟



早稲

稗



稗の種
早稲

苧麻

苧麻の種
早稲



苧麻の種
早稲

菜種



菜種の種
早稲

廻

船数艘



船の種
早稲

積登

問屋之蔵入座



問屋の種
早稲

直隄関合相場



直隄の種
早稲

不残於賣拂者運賃



不残の種
早稲



運送の便
舟運の便
舟車小舟あり

水上口

舟車小舟あり



舟車小舟あり
舟運の便
舟車小舟あり

利漕之程



舟利の便
舟利の便
舟利の便

出入之

有損失者之辨之便之味



味漕ハ大至成焚
味漕ハ大至成焚
味漕ハ大至成焚

酒



是の味漕
是の味漕
是の味漕

酢



醬油



麴



米又ハ麦
米又ハ麦
米又ハ麦

油



蠟燭



紙

墨



筆



低ハ和洋
低ハ和洋
低ハ和洋

墨
墨
墨

筆
筆
筆

紙
紙
紙

等通 世外 絹布之類 金襴



金襴の類 赤紫
黄白黒とあり
池金糸入也

絹子



絹子の類 一丈余
二丈入とあり
地紋ありあり

紙子



是の絹子より
二目トあり
押糸とあり

紗綾

此れ巾天徳目
地の絹子類あり

縮緬



縮緬の糸地(巾中一尺二寸)
丈二丈六尺信巾(巾五尺五寸)
山籠り糸縮緬とよよとあり

綸子



見立の類 白
あり地りん大
縮くあり

羽二重



巾中一尺二寸
丈二丈八尺あり

水消生絹



練糸の糸
ありとあり

天誓織



白の類 白
あり金糸入生絹あり
とあり巾丈あり

羅紗



生絹八巾之
又あり文
金糸とあり

羽織又ハ
紙入製子

櫻子

の糸ありあり

羅脊板

ちせいのちせいの
縫姿板ハ地縫
ちくちくと生糸
ハ縫物ふあさ

のうせん
先纏



わうせんハおく
毛あり巾の同方
二間程ののあり

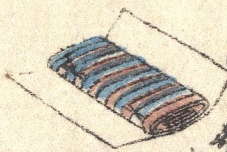
と
兜

の
縫物

とろおち
縫羅の縫姿
板の未ありの
ちりちりあり

せん
ののそ
ち
縫物兼拍仕立

の
物



あるてハなく
着扱
ありあり

ま
つ
ま
真綿摘綿



これ
ま
縫

ち
て
古衣



あ
ま
麻



ら
苧



ち
ま
より
生た用



め
めん
木綿



ま
ま
ち
ち

つ
お
油



あ
ま
油
用ありの

ま
ま
有衣



ち
ち
一尺八寸
一尺一寸
縫

ち
ら
袴



ち
ら
あ
あ
あ

ち
ら
羽織



ち
ら
あ
あ
あ

月組



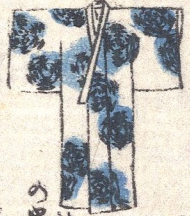
月組の巻物
あり縮糸と絹
利もよく梅の
花もよく

袴



袴の
九月八月まで
振あり

単物



単物の
縮糸と絹
利もよく

帷子



帷子の
縮糸と絹
利もよく

痰着



痰着の
縮糸と絹
利もよく

蒲團



蒲團の
縮糸と絹
利もよく

蒲團の
縮糸と絹
利もよく

蚊帳



蚊帳の
縮糸と絹
利もよく

浴衣



浴衣の
縮糸と絹
利もよく

風呂敷



風呂敷の
縮糸と絹
利もよく

手拭



手拭の
縮糸と絹
利もよく

帛紗



帛紗の
縮糸と絹
利もよく

後戻り後戻りを
のりもよく
小用も後戻り

帯



帯の
縮糸と絹
利もよく

足巾



足巾の
縮糸と絹
利もよく



足巾の
縮糸と絹
利もよく

足袋



足袋の
縮糸と絹
利もよく

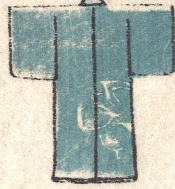


是袋は白く紅く
 白くあり白木綿
 雲染の女袴

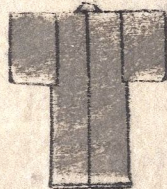
長深色緋



赤



檜皮



紫



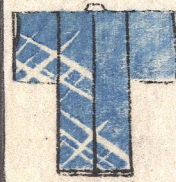
将金



木賊



浅黄



桑



深之類

前黄



藕枋



茜

大柄まわらう
 とおまろ
 のあり

紅粉



赤い草の
 花を
 染む

不

深

入



是ハ柄
 花ト
 染ム

紋

家ノ
 紋

纏

教



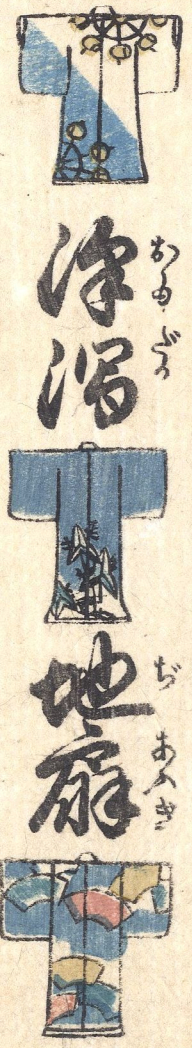
總持板
 伏虎板
 上後
 上後
 上後

雛之菊



立

浪 なみ
雲杉 うんそう
水車 すゐぐるま

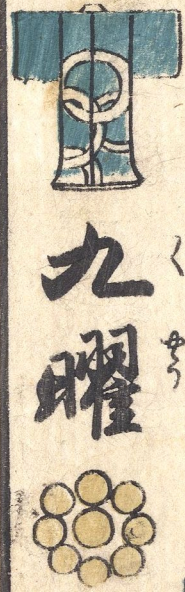


浮沼 うきぬま
地蔵 ぢざう

浄所車 じやうじよぐるま
菱 ひし
輪 りん



遠 とほ
九曜 くやう
四目結 よつめむす



菊 きく
桐 きり
柏 かしわ

友 とも
萬 まん
巴 ま



破漿木 はせきぎ
唐草 からくさ
女 にょ



臺之好摸板恰好台得也



用具



是ハ諸職裁縫其の
外寸入の愉好なる
得ざる事あり

武士

是れ其の用具ハ
其の美入の愉好なる
只一二をさふあま

其品

多増之分



矢



矢ハ重者塗をとり
矢ハ重者塗をとり
矢ハ重者塗をとり

銃

長刀



長刀ハその形も
長刀ハその形も
長刀ハその形も

袴



鎧



袴ハ其の形も
袴ハ其の形も
袴ハ其の形も

鎧



五
五

草子三枚二枚の天候之中古草子も
之の刃付も有る割草子も有る細堅
啄木も此は沼津裾裾浪外の是小操
甲の筋がぞと挑も改多
漱形番附りらうく
朱葉皮



鞍形



甲の筋がぞと挑も改多
漱形番附りらうく



軍使圖
のじ緒
素あち



鞍



鞍の和名地金
廣幅白の塗
を改付も

澄



鞍の縁をう赤眼
改付の地いらく
中の板を

泥障



切付

切付



漆甲

漆甲の字もや
ませと漆皮つひく
早を正しる具也

正綱



漆と多
深と教
あり

腰帯



腰帯の板を不
車一用も修ふ
押掛とらん

鞆



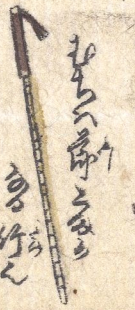
上は同
鞆造
て用白

鞍履



鞍履ハ牽
馬の上を用
男具あり

鞭



鞭の筋を
有行ん

美縄



美ハるの
は分の
飯あり

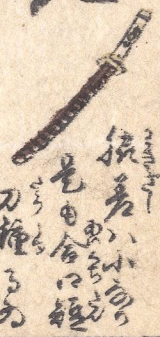


全圖のじ索毛思
結毛猫毛海糸毛月
類彙毛毛外毛

叔赤刀



腰差



之拵目黄



相後氏宗良

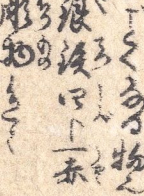
鞍



縁



柄



柄



柄身

改



柄

柄

柄



組



切羽

鞘

鞘

鞘

鞘



金銀

金銀

金銀

金銀

金銀

金銀

金銀

金銀



赤銅

真鍮



江戸

減金



素洞

素洞



鉄



象眼



象眼金銀
象牙の
金銀に
象牙を
嵌め
込む

居紋彫物

細之者



是ハ細工
白銀
向銀
腰の彫
細工

樽意酒不

時之風情也



是ハ素地を於
は林相意の地
その外國の
下



備前
備前
備前

唐物



備前
備前
備前

和物之家敷



和物の
日本
備前

珊瑚



珊瑚
珊瑚
珊瑚

珊瑚



獨瑤
獨瑤
獨瑤

陣襟



陣襟
陣襟
陣襟

馬腦

馬腦

馬腦

馬のついでに
あしとくあり
是も然る事なり

琥珀

琥珀の白きと
多りのと赤品
不用也

漆

まの
たぐいの
物に事あり

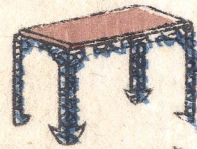
水晶



まの事あり
物のかぎり
たるものあり

青

貝車



あまの
あまの車ハ地漆
塗みく
事あり

青磁

香爐



あまの
あまの焼
事あり

唯茶之

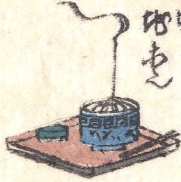
香合



あまの
あまの
事あり

香盆

あまの
あまの
事あり



南繪梨子地之

あまの
あまの
事あり

硯箱



あまの
あまの
事あり

文庫



あまの
あまの
事あり

文臺



あまの
あまの
事あり

字架



あまの
あまの
事あり

御座物
御座物又
御座物の類

硬屐



硬屐の類
硬屐の類
硬屐の類

文鎮

文鎮
文鎮の類
文鎮の類

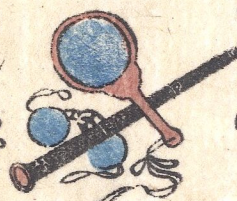
礮石



礮石の類
礮石の類
礮石の類

南系石

月鑑



月鑑の類
月鑑の類
月鑑の類

巾着



巾着の類
巾着の類
巾着の類

美筥
美筥小用
美筥小用の類

巾着



美筥の類
美筥の類
美筥の類

次

雅具考
雅具考の類
雅具考の類



狭箱
狭箱の類
狭箱の類



大箱
大箱の類
大箱の類

長持



櫃
櫃の類
櫃の類

戸棚
戸棚の類
戸棚の類

戸棚



大方向
大方向の類
大方向の類

筆筒



展風



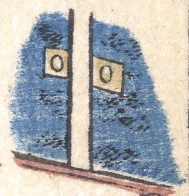
展風の類
展風の類
展風の類

衝立



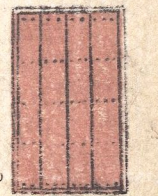
角

襖 (ふすま)

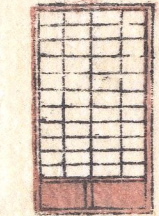


是今代の
襖と云
味わろ

戸 (と)



障子 (しやうし)



簾 (かたびら)



竹
作

幔幕 (まんまく)



椀 (わん)



折敷 (おれしき)



湯桶 (ゆづく)



巾着 (きんちやく)

切立 (きりだて)



安否 (やすひ)

安否 (やすひ)



のん

食箱 (しょくばう)

食箱 (しょくばう)



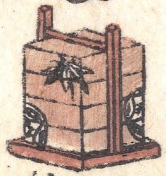
重箱 (じゆうばう)

重箱 (じゆうばう)



提籠 (ていろう)

提籠 (ていろう)



以懸 (いけん)

以懸 (いけん)



以懸 (いけん)

皿 (ひら)



鉢 (ひち)

鉢 (ひち)



盃 (さかづき)

盃 (さかづき)



盃 (さかづき)

桐箱 (とうばう)



德利 (とくり)

德利 (とくり)



湯 (ゆ)



庖丁



大小 生脰箸



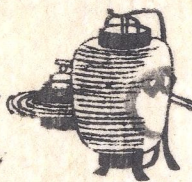
燭臺



以燈



提灯



提籠



茶罐



罐子



茶碗



茶柄杓



鹽



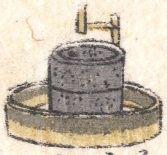
椀



撥曇



雄



確



箕



版銅



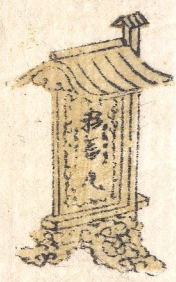
編笠



重宝(じゆうほう) 傘(かさ) 是(こゝろ) 御(ご) 用(よう) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履) 是(こゝろ) 御(ご) 用(よう) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)

外(あ) 緒(緒) 皮(皮) 直(直) 下(下) 座(座) 時(時) 不(不) 見(見) 合(合) 可(可)

為(為) 賣(賣) 買(買) 也(也) 茶(茶) 種(種) 香(香) 具(具) 之(之) 類(類)



茶(茶) 種(種) 香(香) 具(具) の(の) 類(類) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履) 是(こゝろ) 御(ご) 用(よう) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)

松(松) 栴(栴) 子(子) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)

根(根) 丸(丸) 大(大) 黄(黄) 根(根) の(の) 正(正) 黄(黄) 細(細) 辛(辛) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)



阿(阿) 苧(苧) 茶(茶) 石(石) 斛(斛) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)

阿(阿) 烟(烟) 圓(圓) 丹(丹) 獨(獨) 活(活) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)

其(其) 草(草) 肉(肉) 桂(桂) 一(いち) 本(ほん) 履(履) 木(木) 履(履)




高(高) 画(画)

川芎 せんきゅう 茵陳 いんちん 藿香 くわくかう 蒼朮 そうじゆく



連翘 れんしやう  三陵 さんりやう  白芷 はくし  陳皮 ちんぴ 

 茵陈 いんちん 茴香 かうかう  羌活 きやうかつ 

桂枝 けいし  半夏 はんげ  茯苓 ふりやう 

枳殼 しき  巴豆 はとう  桃 とう 

仁 にん  遠肉 えんじゆ  杏仁 あんじゆ 

伽羅 がら  麝香 じゃかう  麝香 じゃかう 

撞腦 そうのう  白檀 はくだん  丁 てい 

子こ

子こ 子

人ひと

人ひと 人

儂おろそか

儂おろそか 儂

煇あき

煇あき 煇

綠あざ

綠あざ 綠

明あきら

粉こな

粉こな 粉

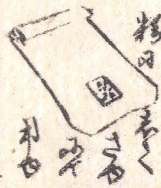
煉あぶら

煉あぶら 煉



膏あぶら

粉こな



教あそび



膏あぶら

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ

急いそ 質しつ 未ま 種しゆ 不ふ 用よう 量りやう 入い 世せ



其その 外ほか 山さん 海かい 之の 魚ぎよ 鳥とり 鶴つる

其その 外ほか 山さん 海かい 之の 魚ぎよ 鳥とり 鶴つる

其その 外ほか 山さん 海かい 之の 魚ぎよ 鳥とり 鶴つる

其その 外ほか 山さん 海かい 之の 魚ぎよ 鳥とり 鶴つる

其その 外ほか 山さん 海かい 之の 魚ぎよ 鳥とり 鶴つる



存ぞん



鴨かも



鶴つる

鶴つる 鶴

鰯



まうら

秋の魚
鱈の魚
冬魚
みく
用也

鱈



さば

味香
味香
味香
味香

烏賊



い

あつた
あつた
あつた
あつた

鱈



鱈



鱈

王佐魚

輪残魚

鱈



鱈



鱈



鱈

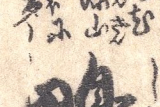
鱈



鶴



鶴



鶴



鶴

鶴



鶴



鶴



鶴



鶴

鶴



鶴



鶴



鶴



鶴

鶴

鶴

鯉魚
うなぎ
こまゆ多く
今いさし



海辺にておき
うなぎ
こまゆ多く
今いさし

鰻
うなぎ
こまゆ多く
今いさし

鰻
うなぎ
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

鰻
うなぎ
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

鰻
うなぎ
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし



魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

馬刀
まて



魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし

魚
こまゆ多く
今いさし



牡蠣
かた貝
おろし用
おろし

蛤
かた貝
おろし用
おろし

蛤
かた貝
おろし用
おろし

蛤
かた貝
おろし用
おろし

蛸
たこ



海月
たこ

海月
たこ

海月
たこ

辛螺
かき

辛螺
かき

辛螺
かき

辛螺
かき

辛螺
かき

辛螺
かき



親志也

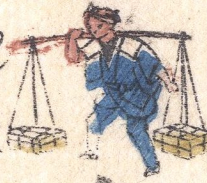
親志也 とまじりあき
ふきあき

猪鬃之石物

依止際限令畧之平



舟
舟
舟



右之也 とまじりあき
右之也 とまじりあき
右之也 とまじりあき

礼唯初学塾



塾
塾
塾



平生之取扱文字之任思出
粗池也也 とまじりあき
粗池也也 とまじりあき
粗池也也 とまじりあき

後切雅之附之 とまじりあき
後切雅之附之 とまじりあき
後切雅之附之 とまじりあき



後切雅之附之
後切雅之附之
後切雅之附之

執以

二の肝意は管吹

おき
長雲正
の若作

連子



あつみの文子
此の曲多
願はれども
残るは多し



連子の百首十五頁
おはすあそび
多し味より多し

立花



あつみの
立花の
花の

燃燭



飲は古今
万葉その
外物修り

あつ
あつ
あつ

遊鞠



あつみの
あつみの
あつみの

茶之湯



あつみの湯は右田織物小唄
あつみの湯は右田織物小唄
あつみの湯は右田織物小唄

徳



あつみの湯
あつみの湯
あつみの湯

あつ
あつ
あつ

音



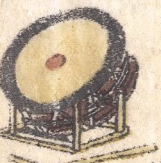
あつみの湯
あつみの湯
あつみの湯

鼓



あつ
あつ
あつ

太鼓



あつ
あつ
あつ

笛



琵琶琴



あつ
あつ
あつ

勢古之

後主家業有法力をたつ者種

可相嗜或若碁



碁の代
碁の代
碁の代

将碁



碁の代
碁の代

双六



双六の代
双六の代

淨瑠璃



小圓

小圓の代
小圓の代

酒宴在興



或者不憂分

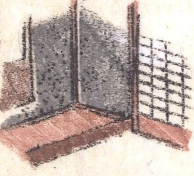
浪勝美服

浪勝美服



浪勝美服

家宅



泉水築山



泉水築山
泉水築山
泉水築山

樹木



樹木

花之樂也



是ハ東ノ海也
ハ用ノのさあかん

黄

金銀事



或ハ花也
又ハ花也
花也

金銀事

嘉淑被滅之基歟也此世者

奇業



是世也
業也
業也

技

魚者



魚者



魚者

万為染和



万為染和

万為染和

利禄人之用也天爵と重る

向來人の稀也天道働業者

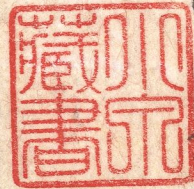


終備責禁用子孫崇奉之瑞

相也倍之利淫世教茶留

如件

おらより多く己かありひをつとあり得者ぞ
見せされた光の治小南賣ア終んさまれば別考
ふけひの家運子孫崇奉とさかひあるあり



東都

書林

中橋東中通下模町

岡田屋嘉七	和泉屋市兵衛	山城屋佐兵衛	山城屋政吉	須原屋茂兵衛	出雲寺萬次郎	和泉屋金右衛門	須原屋伊八	英屋文藏	森屋次兵衛	品川屋淺二	大和屋喜兵衛
-------	--------	--------	-------	--------	--------	---------	-------	------	-------	-------	--------

江戸樂舎用



江戸樂舎用

南
宮
佐
未
給
付
の
金

そ 夫と書畫の藝は大有るや。是は舒と乾坤の
 彌り。是を卷けバ懐掌ふ藏と五寸の筆管を
 弄びく造化の秘蘊を現し。三歳の童子とて
 億萬世の古人を友とせし免。脩身齋家之道と
 知り。貴賤上下の分を辨ふるも。皆書畫の徳成
 むや。古ハ繩を結びく印とあしし不鳥の跡と
 學びて篆書起り。篆籀古文の八體分きて。

竟つひ小こ隸れい書しよの形かたち小こ歸き。再またび真まこと行かう草そうの三さん体たい小こ
 移うつる。世よの有あつ様さま小こ隨まひて。變かへ革くわくなる更さら此この如ごとく。
 畫えも亦また然しかり其その初はつハ龜きト小こよりて形かたちと成な。終つひ
 小こ山さん水すい小こ丹たん青せいト水みづを治とめ。萬まん像ざうを寫うつト
 不ふ易えきの規き模ぶをあつる。則すなはち書かきと畫えと小こ車くるま
 の兩りゆう輪りんあるが如ごとく。須まを吏しも離はなるべからず。此この
 のあり。心こころ動うごゆる言こと語ごを發はつ。言こと語ごハ文字かた小こ

形かたちを成なす。書かき亦また變かへトて畫え小この如ごとく。千ち代よ小こ八や千ち
 代よ小こ礫れき石いしは。巖いわとありて苔こけむすまで。日ひの行ゆく駒こま小こ
 片かた時ときもたまるまづ。士し農のう工こう商しょう日にち用ようの言こと葉はの文ぶん字じ小こ
 形かたちを畫えき。令あつ兒こ愛あい娘むすめの早はや解と一寸いち画え工こうの手てと假かりて
 商しょう賣ばい往かう來らい繪え字じ引ひ成なす

又玄齋南可識





禮

あつちとくは世中の入るれい
↑をきみとよみくやま

樂

糸竹のそりまきまのりてをび
ちそびとまふわがなまきま

射

弓本うまなをききいむむとも
この角をたふぬをよま

柳

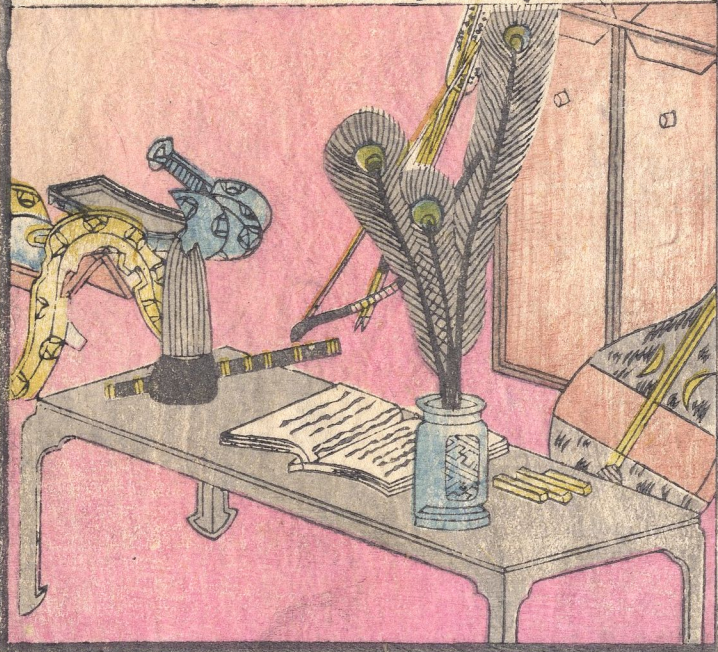
世茂りる人のむろちあまは弱
のうたふてまぢやふうま

書

よみうれを宗乃山の書讀とも
あしでのわくぬ人のまうま

數

そろそろわれさるるあはれお強
りやもつるよとらんを理あ



高貴性来繪字



允高貴持扱文字真数取

造之日紀



純文



久しうたつては...
家持地和紙代書後
必ひは金銀借用その外
な形のかげ文あり

浪文

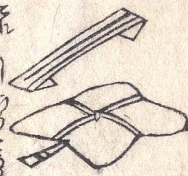
浪文の一切品物
寸法又は墨
後不極木之

うけと
傳取



傳取
方拵常
利ホリ

貸入



貸入ハ貸貸成
ひ合銀箱
利息貸借之

算用帳



帳箱
是ハ士農工商
有用の金帳
出入算用之

りく
月録仕切



是ハ借圓
算用帳
是ハ借圓
算用帳
出入算用之

之

あり
貸入先取替之金子大判



大判の精度方角
は新の金は
付より相場あり

小判



是ハ金
壹匁



是ハ新
張之類
あり

式朱

是ハ新
金や
あり

金者位

品多不備南條上銀子丁

板灰吹

是ハ板灰吹
板の上の
あり

考

質も本古
正志米の
質も本古
質も本古
質も本古

毛拂
毛拂
毛拂



天祥より
綱の中
綱の中
綱の中

分綱
分綱
分綱



以天祥
以天祥
以天祥

相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠



相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠
相遠

穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧
穀糧

晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻
晚稻

新米
新米
新米
新米
新米
新米
新米
新米
新米
新米



雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀
雜穀

早稻
早稻
早稻
早稻
早稻
早稻
早稻
早稻
早稻
早稻

古米
古米
古米
古米
古米
古米
古米
古米
古米
古米

秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米
秋の米



大豆 (大豆) 八丈 (八丈) 早 (早) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

大豆

大豆 (大豆) 八丈 (八丈) 早 (早) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

小豆 (小豆) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

大豆 (大豆) 八丈 (八丈) 早 (早) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

蕎麦 (蕎麦) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

蕎麦 (蕎麦) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

粟 (粟) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)



稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

稗 (稗) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

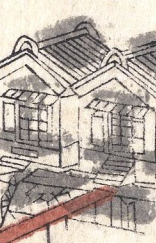
和敷艘 (和敷艘) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)



和敷艘 (和敷艘) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

和敷艘 (和敷艘) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

同登之藏入座 (同登之藏入座) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)



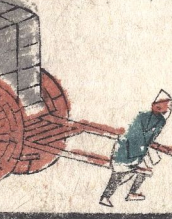
同登之藏入座 (同登之藏入座) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

直伝関合相場 (直伝関合相場) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)



直伝関合相場 (直伝関合相場) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)

不残於賣拂者運賃 (不残於賣拂者運賃) 舟 (舟) 合 (合) 中 (中) 厚 (厚)



水の上は穢
あがりきり 見
舟
揚子舟



運送
 舟運のり
 舟のり
 舟のり
 舟のり
 舟のり



舟のり

舟のり
 舟のり
 舟のり
 舟のり
 舟のり
 舟のり

利淫之徒



利をせむ者

出入

有損失者之辨之毀之味増

あつそん ちろバ ベノ 見たまふことと人バ



味増ハ大島成葉
 味増ハ大島成葉
 味増ハ大島成葉
 味増ハ大島成葉

酒



酒
そよ米之製法
久留田伊丹
てゆるきあり

酢



上更

醬油



麹

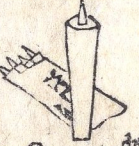


紙

油



蠟燭



紙

紙の紙
 紙の紙
 紙の紙
 紙の紙
 紙の紙

雲



筆

筆



筆

等由外納布之類全保



全らんの色表器
黄白思とあり
地金糸入れ

縹子



縹子六丈一丈余
この天竺摺あり
地紋ありがりあり

紙子



見落子厚下
と角トととと
押取摺とあり

紗綾

これの天竺同
地六縹子船あり
解

編編



編編の原地と云
丈二尺又又納中船と云
山麓の縹編と上糸と云

綸子



甲ん生糸の多く
あり地めん太又
と云とあり

羽二重



名が又の原地と
何て云一巾又程
丈二丈八尺あり

水絹生絹



糸は生糸と
條さるりのと云
と云と上糸と

天竺織



びらうと云物製の色
もろ金と云織物あり
と云と云と云と云と云

羅紗



羅紗巾巾之
尺五寸丈
糸を云と云

あつめ織又ハ
紙の製子

釋

縹の糸ありあり

羅脊板

産物扱の地味
少くもを生かす
の産物扱の地味

毛織

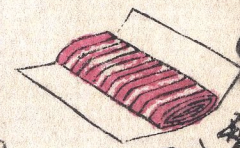


わらうせんはよく
毛織巾八匁
二匁ののあり

塊

産物

物

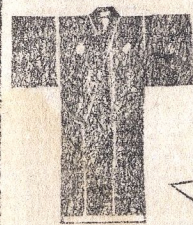


塊羅綿の産物
扱の末身のもの
替り玉掛あり

産物産物仕立

互物の二及大方二丈は尺巾寸守
一尺あり。仕立物の形も仕立
はる更にはありといふあり

古手



ふるふたはくま
善扱あり

真綿摘綿



これ
ま
綿



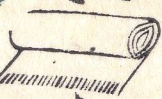
▲方あり
毛織
扱あり



本綿



虫ふる
実不潔
とあり



麻

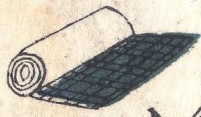


苧



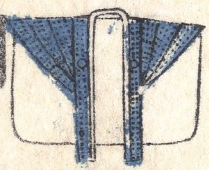
まうの本
より発水
よはれあり

油



まじり綿本
扱あり

扇衣



扇衣の巾巾
一尺八寸あり

袴



ちよいおま
扱あり

羽織



羽織の糸が長
く撥つたる下七
扱あり

同色



縹糸と縹
月白と縹

松



後述之月又
九月八日との
扱あり

単物



幼木珍
務中形
の單物云

帷子



帷子の新法
扱あり

夜着



務善の木珍又
務中形
く合表反懸

香團



市入布木あり
務中形あり

蚊帳



活衣



務善の湯
すいすい
取物き

風呂敷



又布林
久きると
扱あり

巨楮



巨楮ひ
又すいと
本珍形

帛紗



扱あり

務善不夜夜を
のすいすい
ふ月白
扱あり

帯



一丈より
中八好
扱あり

幣巾



火刺



扱あり

呉絹



頁



皇袋ハ...
...
要母...

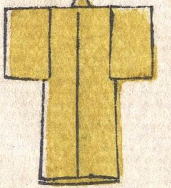
其深色緋



赤之



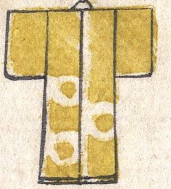
檜皮



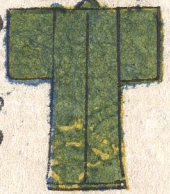
紫



紫金



木賊



淡黄



赤



深之類

花黄



藕粉



...

...

大板...

紅粉



...

...

...

入



...

...

...



...

...



...

浪なみ



雪ゆき杉すぎ笠かさ



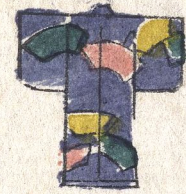
水みづ車ぐるま



浮あわ沼がら



地ち扇あふぎ



浄じやう新しん車ぐるま



菱ひし

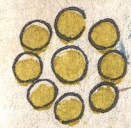


輪りん

遠とほ



九く曜やう



四よ目つめ结あひ



菊きく相あひ



柏かしわ



友とも



萬まん



巴おの



破やぶ漿じやう



唐から草くさ



女おんな

童わらわ之の好この換か松まつ恰ちやう好この白しろ海うみ邊べ



用具



是ハ諸儀裁縫其
御寸尺の檢好
得べき事あり
武家家の用具
又等人がくといふ
只三をくふゆ
其の志まのくど
其品

武士

其品

多増之分



矢



切短その外ありあり
切短その外ありあり
切短その外ありあり

鉄炮

長刀



長刀ハその形ありあり
長刀ハその形ありあり

絆



鎧



十文字大次郎のうく
十文字大次郎のうく

鎧



鎧

華子二枚に二枚あり大神之中者前よりしる
三ツ又八分あり前利を毛の六徳に似て来り
本に似て似て似て似て似て似て似て似て
似て似て似て似て似て似て似て似て似て



形 歌



甲の筋かぶと排きの形あり
歌形を看りしるく
まきぞ
前まきの目の



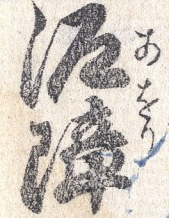
境



あまのり
くま
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



切付
中八松
切付
切付
切付
切付
切付
切付



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり



くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり
くまのり

叔亦刀

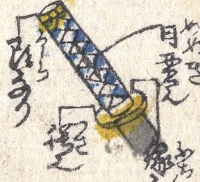


腰差



多くして
又の中
かへば

巨梅園黄



目黄の全痕作
お後及氏
彫その外

鞍



毛は
柄は
塗敷

縁



このどきおむ
全痕後下赤
細彫のもの

柄

柄

海箱
柄あり



此六柄の
ぬえ全痕後下
手外後み

結



組

平の刀柄
赤洞
全痕上
赤洞
下
その外

切腹



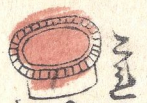
全痕
上下
赤洞

鷲目

鞘

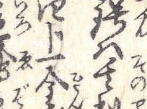


塗敷



全痕
あり

汚



全痕
あり

随其

好



赤洞



真珠



このふ

赤

真

減金 めつ かね



金七 金七

素洞 すどう



珠 たま



象眼 ぞう がん



象眼 象眼 象眼

居紋形物 いもんがたもの

細之者 こほくのしや



細之者 細之者

箱蓋酒取 はこぶたしゅと

時之風流 ときのかうりゆう



時之風流 時之風流



和物之家敷

唐物 からもの

和物之家敷

和物之家敷 わぶつのかいしき



和物の 日本

珊瑚 さんご



珊瑚 珊瑚

獨瑤 どくご



獨瑤

陣璫 ちんどう



陣璫 陣璫

馬腦 ばのう

南画

馬のつらんを走
あしをくまう
馬も踏宗と有

琥珀

琥珀の白きを
ふるもの葉子
ふ用也

漆

まの
琥珀

たのまへまのし
龍甲の
板と重

水晶



まのまの水
精のかさり
たりのり

青

ぐひのあや
貝車



青貝の車ハ地漆
塗ふと青貝成
まのり

青磁之

ろう
香爐



香爐ハ精のあや
まのり
各々青しかうる
圓のそくろりあり

堆朱之

香合



推朱ハ推板とあり
香合ハ香金の
り箱あり

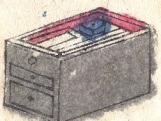
香盒

香盒ハ
香金あり
香後也



舟繪梨子地之
ちの
舟絵ハりし地と
金浪をすの控也
あたるのあり

はかりでこ
硯箱



硯箱ハ石製
水余文方の
具とのあり

文庫



文庫ハ
至る具
紙函小

入るる
文巻



文巻ハ襪か能治
の用具也のこ
色紙綴冊と重

書架



小のり

掛金籠
床戸物又
衣箱のえ

硯屨



硯屨の箱
硯の
箱と並ぶ

文鎮



文鎮を
俵を
あとのえ

徳石



徳石の圓の
みく方角の
圓と解るもの

南東石

目鑑



目鑑
又大小の
いと解る

巾籠



巾籠
高澤

糸籠
糸籠
糸籠

巾籠



巾籠
巾籠
巾籠

次

雜具者箱

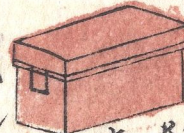


雑具者箱
狭箱



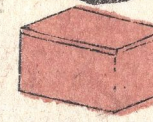
大箱
大箱
大箱

長持



大箱
大箱
大箱

櫃



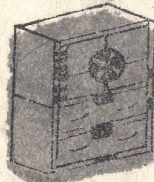
戸棚

戸棚

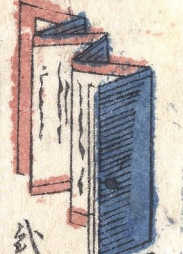


戸棚
大方
大方

箆笥



屏風



屏風
大方
大方

御座



南

外

夜



是の戸の
縁を
はらう

戸



障子

簾



幔幕



椀



お椀



湯桶



切立



女湯



女湯

食籠



重箱



提重



以爲



以爲

皿



鉢



盃



猫鍋



德利



錫



角

ちりん 燈籠



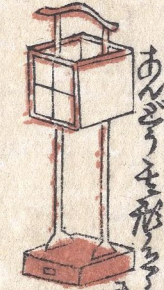
大小 生脰箸



あん 湯燗



あん 湯燗



ちりん 提灯



提灯



茶罐



茶罐



茶碗



茶碗



塩

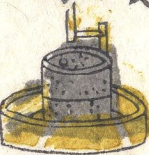


塩

塩



碓



碓



碓

吸網

吸網



吸網

編笠

傘

 木履


多直下座時不見合可

為愛買也業種香具之類



業種香具の類
 不動の徳吉向親
 扱ホももあり

松栴子

 びん
 ろう
 トハ

大英



細辛


阿彌業


石斛


阿膠


貝母


獨活


其草

 肉桂

 苦茶




川芎 せんきゅう
尚梅 しやうばい
藿香 くわくかう
艾 あい

連翘 れんしやう
二渡 にたう
白芷 びやくし
陳皮 ちんぴ


茵陈 いんちん
香薷 かうじゆ
羌活 きやうかつ


桂枝 けいし
半夏 はんげ
莢函 けいごん

枳殼 けいこく
巴豆 はとう
桃 とう

仁 にん
蓮肉 れんじゆ
杏仁 あんじゆ

伽羅 がら
麝香 じやくかう
龍腦 りゆうのう

撞搗 つうたう
沈香 しんかう
白檀 びやくだん
丁 てい



木の眼 きのめ



麝の じやくの



杏仁 あんじゆ



杏仁 あんじゆ



杏仁 あんじゆ



陳皮 ちんぴ



巴豆 はとう



桃 とう



桂枝 けいし



半夏 はんげ

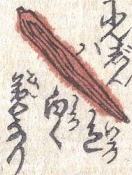


莢函 けいごん

子



人參



硫黄

生薬... 硫黄の目と用也

硝石

硝石の目と用也

綠青

綠青の後の目と用也

明礬

煉末

煉末の目と用也

煉末



煉末の目と用也

粉末



粉末の目と用也



粉末の目と用也



金銀末種不用量入

之極心匠第一也



是又世に於て... 用ひて於て吟味の之

其外山海之鳥鶴



福



鴨



鰯

鰯の目と用也

その... せんろの... ちやう

うま
王魚

あきうら
秋内
まきさ
難

まきさ
鰯



あしひらき
冬後引
用也

まきさ
鰯



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也



あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

あしひらき
冬後引
用也

のりかしのび
しほり
ついで
ついで

辛蛸



辛蛸
中あり



上り月
合志

蛸



海月



海月
海老



牡蛎



蛤



海老

馬刀



蛸



蛸

蛸



魚
魚



魚

乃

乃



乃

乃

鯉



鯉

鯉



鯉

親水也

こゝろのこゝろ
小き魚あり
魚の身

猪鬃の石物

物に際限合畧の年



書 本 學 関



右之を 新法改爲混

紀唯初学堂



大心堂
あまのね
とむらさき



平生言取扱文字と但思出
粗地学也初高貴家生筆主
後切雅之附先古以美術之



史高家不生を書の子供の内分御遊つた
去無八え思一刻掛その外をいひあり人
成長の後家業の用を授けざる不承一之

親以

二の肝是管吹



おき ほん
是雲
の器

連吹



連吹百頁七十頁大の
吹物をおとす
あり所ふとす

休吹

休吹
海



五七三の尺之
吹物
吹物
吹物

立吹



立吹
ハ生
の

まろ
あき
吹物

吹物



吹物
吹物

茶之湯



吹物の場
吹物の場
吹物の場

吹



吹
吹

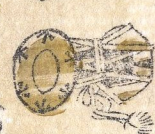
吹物
吹物

吹



吹
吹

吹



吹物
吹物

吹



吹
吹

吹



琵琶



琵琶
琵琶

琵琶

後ま家業有能力まねて者我

の相嗜或者甚
是も後をる所をまて
高附多し海防を
司る公格せま
其六度上右代の力
候不音被公格せま
淨朝せしめん

将棊



双六



双六ハ云
宗の兩代
ふ不用也

淨福瑠



上る人
小野書
う珠
まると云

小唄

小唄ハ高附の足が
外紙の末長う書
津百か法光教子

酒宴を快



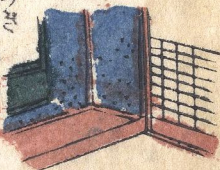
或者不覺分

限勝英服



上より教ア不似
まると云
益みよと云

家宅



泉氷築山



泉氷ハ池より築山
人の匠意をえんが別
酒陣尚林と別そ風を
あつた
うま
つた
ま

樹木



と云

このよりの
おき楽包

きんぐを

金浪車



はあへ
このよりの
おき楽包

おき楽包

おき楽包

おき楽包

おき楽包



おき楽包

おき楽包

おき楽包



おき楽包



おき楽包

おき楽包



おき楽包

おき楽包

おき楽包

おき楽包

江戸樂舎用



終富貴家富子孫榮々瑞

相也倍之利涯世親条皆

如件

おとろくまき 巳ごありのひをつとめ海老が
見世また老匠候工商業之益をされハ別々
ふけひ家富子孫榮々之がひあむのり



廣島流

丑月

沼田

森之助

江戸樂舎用

